

## 「新型コロナウイルスの影響に関するアンケート」調査結果概要版

茨城大学人文社会科学部 経済地理学ゼミナール（田中耕市研究室）

## 調査概要

実施主体：水戸市中心市街地活性化協議会・茨城大学人文社会科学部経済地理学ゼミナール（田中耕市研究室）

調査対象：水戸市中心市街地（駅前～泉町）16商店会の455会員

調査時期：2021年3月1日～3月24日

調査方法：商店会長を通して会員に配付、料金後納郵便にて回収（一部対面回収あり）

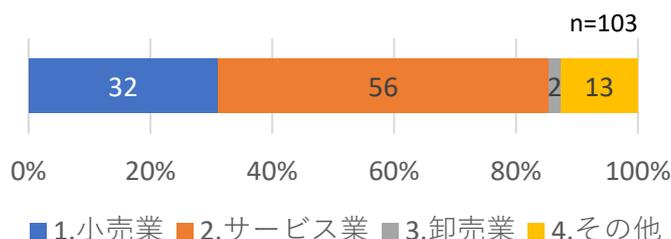
回収状況：112件（回収率24.6%）

## 要旨

- ・ 8割強の店舗において、令和2年度の売上高（生産高）は前年度を下回った。約3分の1（32%）の店舗では、前年度比で売上高が5割以下であった。
- ・ 特にサービス業においては売上高の減少が著しく、93%の店舗で前年度よりも減少した（小売業は77%）。サービス業の店舗の半数において、売上高が前年度の5割を下回った。
- ・ 事業の継続性について、27%の店舗が「困難」、1%が「廃止・譲渡を検討」。今年1・2月の状況が続いた場合、これらの店舗のうち35.7%は「半年以内」、78.6%が「1年以内」に継続できなくなると回答。
- ・ 事業継続が「困難」と回答したのは、サービス業、そして店舗所有形態が「賃貸」の店舗において多い。このような店舗には相対的に若手（50代以下）の経営者が多く、来店客の減少と店舗の賃料が負担になっている。状況が好転しなければ、1年以内に若手経営者の撤退が相次ぐ可能性もある。
- ・ 事業を「継続可能」と回答した店舗では、コロナ禍で新たに「借入した」割合が相対的に高い。新たに借入したことによって窮状を凌いで、事業が「継続可能」となった店舗も多いと考えられる。
- ・ 特定の業種におい手厚い補助金制度についての見直しを求める意見も多くみられた。

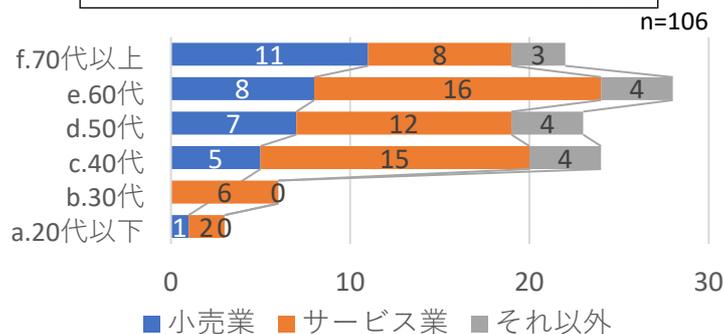
## 問1 (1) 業種

小売業が約3割、サービス業が約5割を占める。



## (3) 経営者年齢別にみた業種

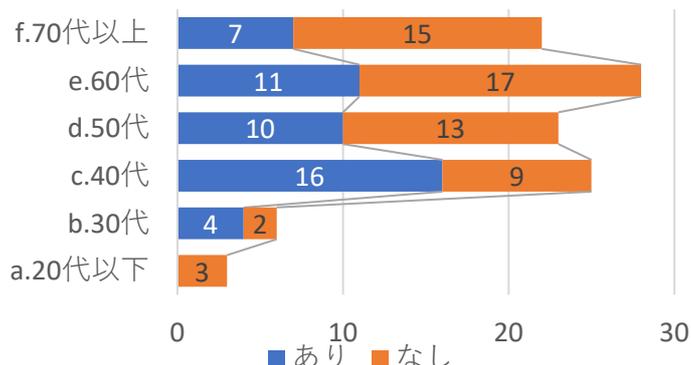
若い年齢ほどサービス業の割合が高い傾向。



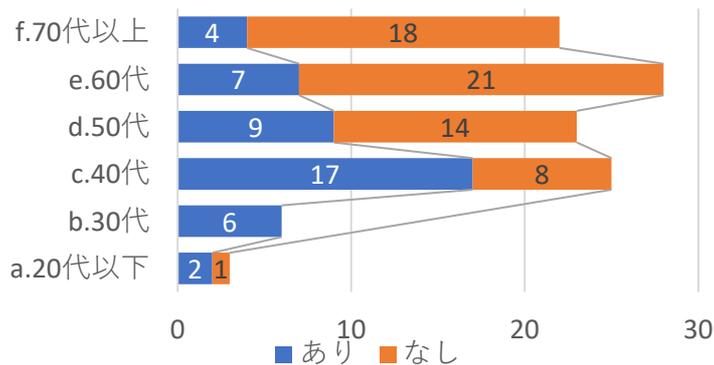
## (5) 事業へのインターネット等への活用

全体の46%がホームページ(更新あり)、42%がSNSを活用。40歳代以下で積極的にSNSを活用している。

## 経営者年齢別にみた更新ありホームページ

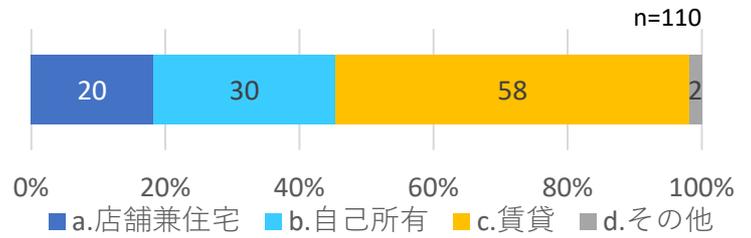


## 経営者年齢別にみたSNS活用

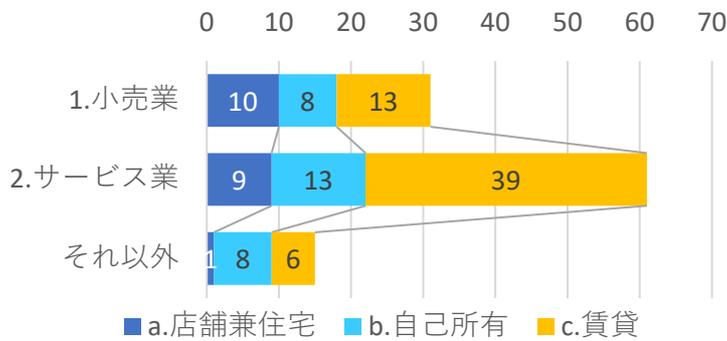


## (6) 店舗の所有形態

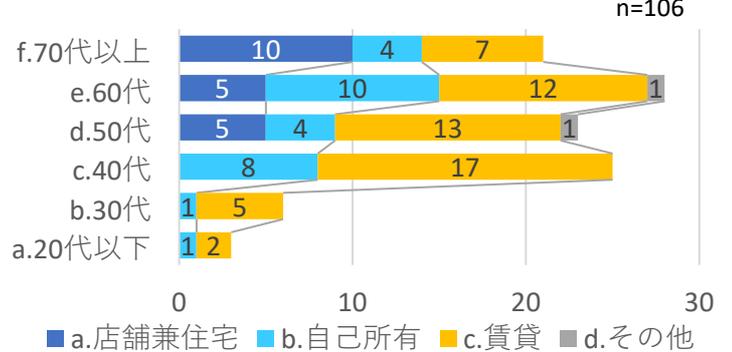
全体の52%が賃貸。業種別にみるとサービス業、年齢別にみると50歳代以下で賃貸の割合が高い。



### 業種別にみた店舗の所有形態

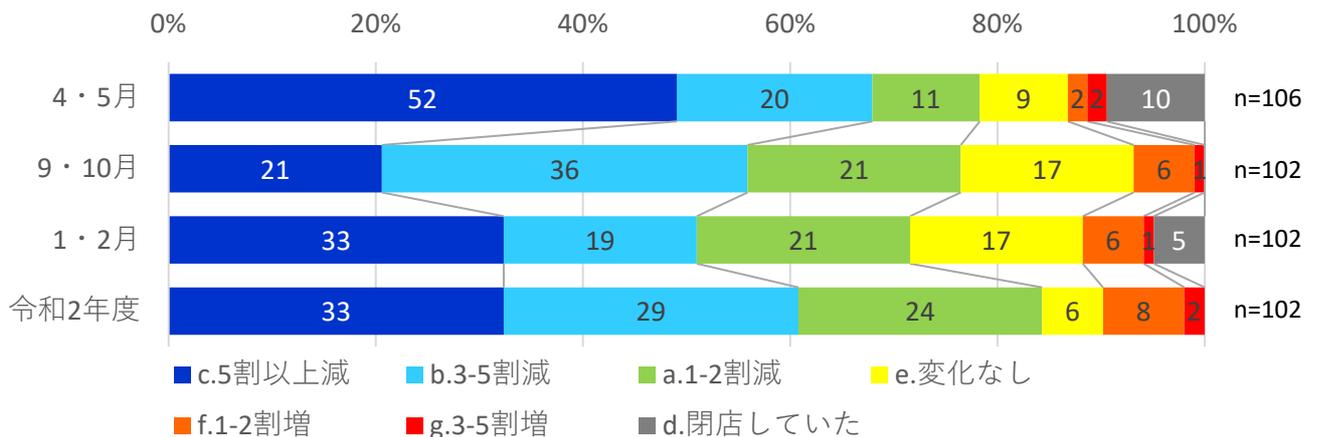


### 経営者の年齢別にみた店舗の所有形態

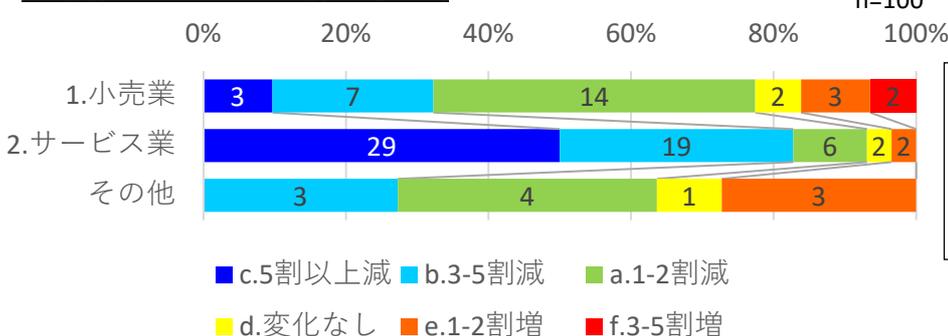


## 問III(4) 前年度同時期に比べた売上高（または生産高）

令和2年4・5月の緊急事態宣言下では、営業店舗の86%が売上減。54%は5割以上の売上減であった。感染拡大が落ち着いた同年9・10月でも76%の店舗が売上減。令和2年度全体の売上高では、84%の店舗において前年度よりも減少。32%の店舗において、前年度の半分以下（5割以上減）になった。

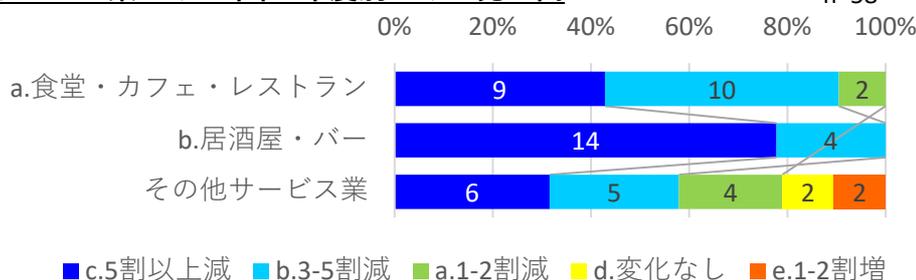


### 業種別にみた令和2年度の売上高



小売業では77%、サービス業では93%において、前年度比で売上高が減少。特に、サービス業では半数の店舗の売上高が、前年度比で5割を下回った。

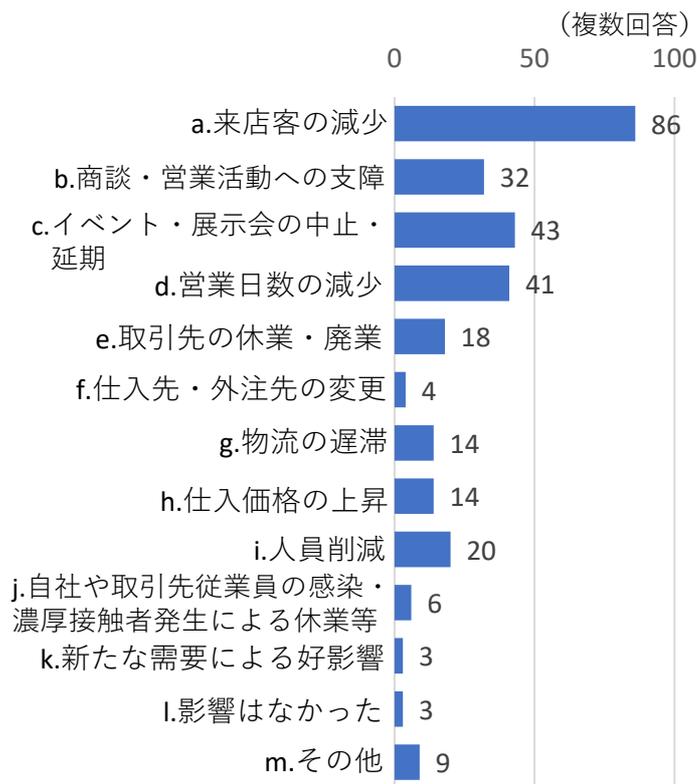
### サービス業にみた令和2年度別にみた売上高



サービス業のうち、全ての飲食店において売上高が前年度より減少。特に「居酒屋・バー」では、8割近くの店舗が前年度比で5割以下であった。

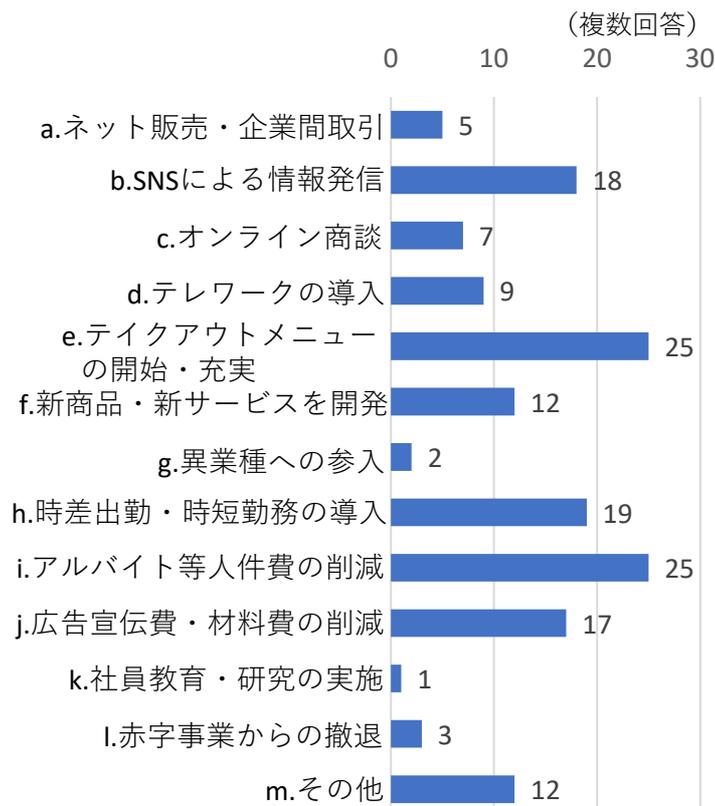
### (5)新型コロナウイルスによる影響

約9割の店舗で「来店客下の減少」、約4割の店舗で「イベント・展示会の中止・延期」や「営業日数の減少」の影響があった。



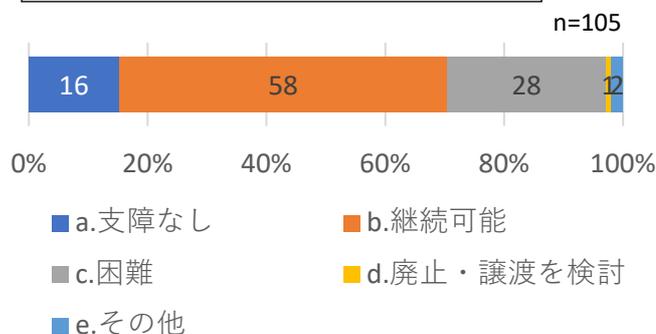
### (10)新たに始めた取組や経営工夫

テイクアウトメニューの開始やSNSによる情報発信等の販売促進への工夫や、人件費や広告宣伝費等の固定費の削減が多くみられる。



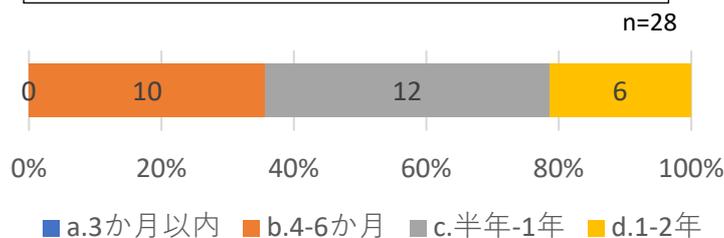
### III(1)事業継続について

「困難」は27%、「廃止・譲渡を検討」は1%。



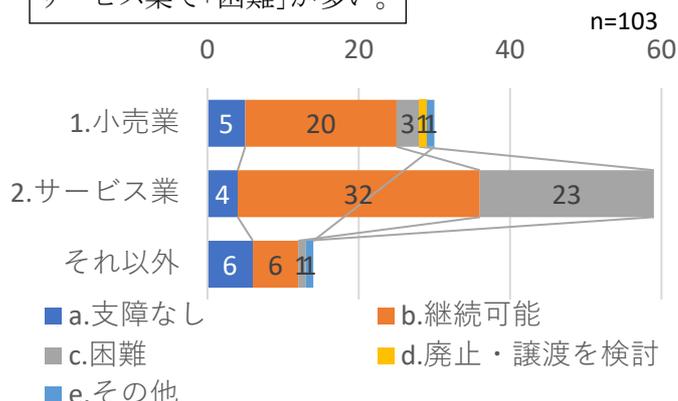
### (「困難」の回答者に対して) 今年1・2月の状況が続いた場合に事業が継続不可になるまでの期間

「困難」の回答者のうち35.7%が半年以内、8割近くが1年以内に継続できなくなると見込まれている。



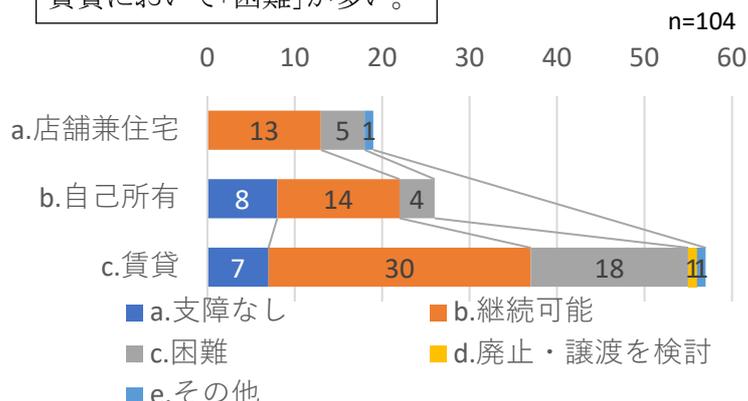
### 業種別にみた事業継続について

サービス業で「困難」が多い。



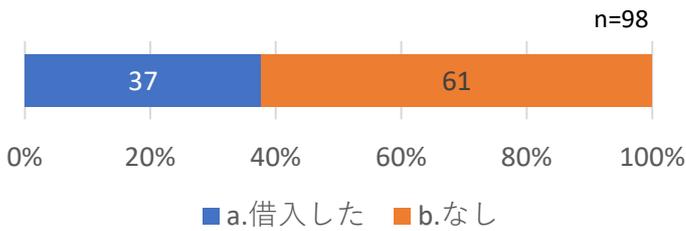
### 店舗の所有形態別にみた事業継続について

賃貸において「困難」が多い。



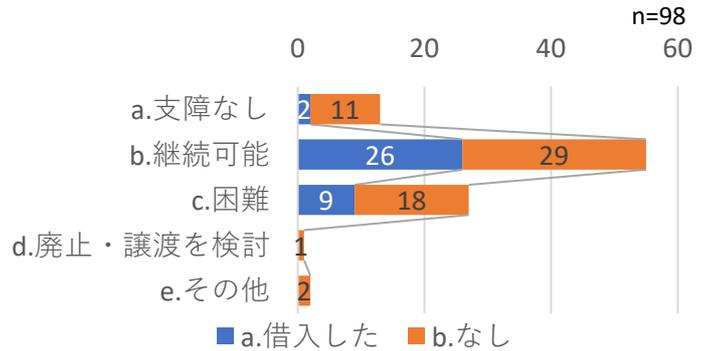
### 問IV(3)新たな借入

約4割の店舗が、新型コロナウイルス拡大以降に新たに借入をした。



### 事業継続と新たな借入

「継続可能」の店舗において、「借入した」の割合が相対的に高い。借入したことによって、「継続可能」になった店舗も多いことが伺える。



### V アフターコロナを見据えた対応について (自由回答)

※各問への自由回答を内容に基づいて分類した。

#### (1)来店客減少への対策

- ①商品・営業方法等の工夫 (5件)  
(例)メニュー変更、価格を下げるなど希少なドリンクや感染予防になることを実施
- ②コロナ感染防止 (4件)  
(例)アルコール、消毒の強化
- ③SNS等の活用 (3件)  
(例) SNSの発信強化、別ターゲット層へのアプローチ
- ④販路拡大 (3件)  
(例) ネット販売強化
- ⑤その他 (6件)

#### (3)国・県・市に望む施策

- ①補助金制度の見直し (9件)  
(例) 飲食以外の業種にも検証の上補助金の考慮を願いたい
- ②減税 (6件)  
(例) 確定申告からの減収率で支援策をお願いしたい。飲食店でなくてもかなりの減収です。
- ③補助金等の要請 (5件)  
(例) 20代30代に、チャンスを与えてほしい。家賃1年補助、2年目半分、3年目1/3など
- ④市街地整備 (4件)  
(例) 街の美化にもっと力を入れて欲しい。
- ⑤その他 (13件)

#### (2)中心市街地活性化への効果的な事業

- ①イベント (7件)  
(例) コロナ対策をしっかりとした上でイベントの再開。
- ②交通関係 (5件)  
(例) 区画整理を進め、大型バスも利用可能な駐車場の整備をする。
- ③出店支援等 (5件)  
(例) 中心市街地への出店や居住に対して、様々な面での優遇措置など。
- ④営業スタイル (4件)  
(例) 月に1回でも夜open(遅くまで開店)の日があると仕事帰りに買物できるのでは…水戸は仕事帰りに買物できません
- ⑤若者向けの工夫 (3件)  
(例) 若年層の集まるような体験型店舗の誘致
- ⑥その他 (10件)

#### (4)アフターコロナを見据えた計画や取り組み

- ①事業拡大 (4件)  
(例) 世界で戦えるコンテンツの開発
- ②営業スタイルの工夫 (3件)  
(例) Eat inお持ちいただく間を少なくできるよう、3分〜5分でお料理を提供出来るMENU作りを考えていこうと思います。
- ③現状維持 (3件)  
(例) 今までやっていたことをやるだけ それしかないとおもう
- ④その他 (6件)